

賛成・反対 全討論(要旨)

番号は発言順

1 ●反対 名取武一

町長は二元代表制をはき違えている。その点は反省してほしい。花のアプリでは、地図の問題はプランナーの責任であり、500万円は不当な要求だ。自己責任で完成するのが当然だ。町長は見積りの検証を放棄している。プランナーの言いなりではないか。その実力が見えていない中で更なる補助金を出すのはいかがなものか。

2 ○賛成 織田昭雄

テレワーク事業を国の支援を受け推進を決断し、町の人口対策として働く場所を確保して町の発展を目指す道半ばだ。富士見に来てくれた企業を応援し、富士見町の衰退を阻止する事業を、住民懇談会でほとんどの方が賛成した。これが民意と受け止め、町長がどうのこうのではなく、町の行政に係る議員としてやるべき事と賛成。

3 ●反対 三井新成

質疑でも言いましたが、確かに理解度は上がってきた。この事業の進め方に問題があることです。基本的にはステップバイステップできちんと進めて頂くことに尽きる。今回この事案を認めてしまうと、次々に同じような手法で事業が進められてしまうので、踏み留まるべきであるとして反対。

4 ○賛成 矢島 尚

町が柱として進める事業を止めることは、推進交付金を国に返還することになり、6市町村や県、国から「富士見町は何をやっているの」と言う見方をされないためにも、今回のIT関連の議案に対して賛成。

5 ●反対 小林市子

地方創生推進交付金を、議会や住民に説明する前に、サテライトオフィス内の企業に、補助金での仕事を進めるGOサインを出していた事を町長本人から聞き、公正・公平を欠いた随意契約をしようとしていたことが分かった。富士見町をここまで担ってきた住民を置き去りにし、公共サービスに我慢を強いられている状況に反対。

6 ●反対 川合弘人

花のアプリ開発は、可決した事業費2500万円で完成させるべきだ。地図作成に500万円の追加予算は賛成できない。プログラム開発の日当4.5万円が妥当かも疑問。町内のIT技術者によると、相場は、1.5万円から2.5万円。プログラム開発の難易度は高くないという。3社以上から見積りを取るべきだ。

7 ●反対 名取久仁春

この補助金は、テレワーク企業移住者による地域産業強化、地域活性化事業に関するものであり、町長の意図も理解する。キクのIT事業には興味があり迷った。しかし、特定の企業に限定するのは反対で、KPIの検証結果で翌年度の補助金申請の採択にも不安が残る。やるなら複数社の競争原理の基、開発を依頼すべきだ。

8 ●反対 五味高幸

9月定例会では終わりの見えない今後の展開と、本当に必要とされているのか等、慎重にならざるを得ないと、修正案に賛成した。住民懇談会、臨時全員協議会を経て今臨時議会でも同僚議員の質疑や対する答弁に耳を傾けてきた。しかしながら、この補正予算に賛成すべき事由を見出せなかったので反対。

9 ●反対 五味平一

ITC全てを否定するものではないが、今回の観光・農業ITプロジェクトは、お金の掛かることが分かった。今後も修正費等が、かなり掛かると予想される。地域の同業者よりもすべてが高額であり、税金を使うことはNOと言わざるを得ない。町長は地方創生戦略目標を掲げたが、転入者が住める家の確保が急務だと考える。

【No.146号】 平成28年12月1日発行

発行：富士見町議会

編集：議会広報編集委員会

〒399-0292 長野県諏訪郡富士見町落合 10777

TEL:0266-62-9403 FAX:0266-62-9320

E-mail: gikai@town.fujimi.lg.jp

10 ○賛成 小池勇

町内5会場で行われた住民懇談会での結果は「進めるべき」が、圧倒的に多かった(反対派11%)。

私は民意を尊重し、賛成する。